

2022 年度 事業報告書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ソーシャルフットボール協会

1 事業の成果

COVID-19の流行により延期していた全国大会を徳島で開催することができた。全国から10チームが集まり熱戦が繰り広げられた。また、四国大学の協力で全国大会をライブ配信し、参加を断念した地区にもこの熱戦を伝えることができた。日本代表活動は予定通り年3回開催し、代表チームのスキルアップにつながった。また、今年度は普及目的で全国キャラバンを開始した。地域の当事者・支援者とも交流し、地域での活動の活性化につながった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【10,906】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
(1) 精神疾患及び精神障がいをもつ人を対象とするフットボール全国大会等の開催	ソーシャルフットボール地区大会及び全国大会	7-10月 11月26,27日	徳島（	120名	精神疾患・障害をもつ人および観客	520名	2706
(2) 一般市民と精神疾患・障がいをもつ人がともに楽しむフットボール大会等の開催	疾患・障害の有無を超えて結成されたチームの参加、精神疾患・障がいをもつ人のチームと一般市民のチームが分け隔てなく対戦するバリアフリー大会等の開催	5月14日	千葉ポートアリーナ	12名	市民及び精神疾患を持つ人	37名	100
(3) 選手の育成及び技術向上のためのフットボール教室等の開催	ソーシャルフットボール全国キャラバン	7月3日 1月15日	山梨 福岡	20名	精神疾患を持つ人	100名	1800
(4) 関係機関との協力・協働による講演会等の実施	市民公開講座(ヤンセンファーマ株式会社と共催)	7月9日	オンライン	6名	市民, 不特定多数	51名	100
(5) 国際的な交流事業や国際大会の実施	ソーシャルフットボール日本代表活動	6月3-5日 12月9-11日 3月3-5日	大阪 千葉 千葉	23名	精神疾患の選手、代表スタッフ	52名	6,150
	精神障がい者フットボール国際委員会	通年	オンライン	8名	国際委員会メンバー等	200名	0
(6) 普及啓発のためのホームページ等の運営	ホームページによる情報の発信	通年	事務所	5名	市民, 不特定多数	不特定多数	50